

令和8年度第1回下田市総合教育会議 会議録

開催日時：令和8年8月27日（木）15時30分～16時37分

場 所：下田市役所本館1階 稲生沢テラス

出席者：

【委員】

市長	松木 正一郎	教育長	山田 貞己
教育委員	宮川 大輝	教育委員	宮内 慎也
教育委員	西川 紀栄	教育委員	磯崎 真紀子

【事務局】

学校教育課			
課長	平川 博巳	参事	宇仁 猛
学校教育係長	稲葉 元紀	指導主事	土屋 純人
生涯学習課			
課長	増山 順一郎	文化スポーツ係	坂部 琢
		社会教育係長	土橋 一登
企画課			
課長	佐々木 豊仁	企画調整係長	鈴木 浩之
		主事	佐々木 達也

傍聴者：報道関係1名

1 開会 15:30

2 あいさつ

・市長

今年度1回目の総合教育会議になります。この庁舎は元々は稲生沢中学校で学校をできるだけ活かした作りとなっています。このような建物を作るときは新築するより改築する方が費用が高くなる場合がありますが、ここは物価高騰の影響なども受けましたが費用を抑えることができました。全国からその成功例を視察に来ている状態です。

グローバルCITYプロジェクトを市としては進めており、「まちづくり」と「ひとづくり」があります。その「ひとづくり」は教育が中心であり、下田のローカル性と国際性に教育委員会でご尽力をいただいています。ありがとうございます。

本日の議題にある新しい図書館をどうするかは、教育委員会が入っていた中央公民館をリノベーションして図書館にするという説明があります。新築した方がいいとの意見もあるかもしれませんが、今ある物の歴史を活かしながら取り組んでいきたいと思いますので、委員さんからの御意見もお願いできればと思います。

・教育長

ヒマラヤ山岳近辺のネパールでは鉄砲水が発生し熱海の土石流の比にならない甚大な被害をもたらしている。また、石川県の集中豪雨も起きている。今まではタ立という言葉もあったが死語になっていく可能性

もあるが、いい秋を迎えられればいい。幸いに下田近辺は夏の期間も大きな被害もなく、本日子どもたちは始業もできました。グローバル CITY プロジェクトの話もありましたが、秋にも多くの行事があります。子どもたちの経験につながればよいと思います。

3 報告事項

(1) 市内小中学校の状況について【報告】

・事務局(学校教育課参事)より資料1に基づき報告。

【質疑、意見等】

・宮内委員

アンケートを毎月実施している点は、意見を反映しやすくよい取組だと思う。

・教育長

アンケート結果を学校で何年間保管するということは、保管するスペースが必要になり、大きな学校では大変だと思う。

・磯崎委員

アンケートをタブレットで実施しているところもある。そのような取組はよいと思う。

・教育長

ペーパーでの回答だと筆跡が残る。字から感情を読み取ることもできる。アンケートはどのくらいの比率で行っているのだろうか。

・土屋指導主事

全ての学校を把握してはいないが、いじめ案件などはペーパーで行ってアンケートを残して保管する義務がある。タブレットの利点として児童生徒に何かあったら気軽にタブレットで回答できるように周知できている。

・宮内委員

アンケートは児童生徒が対象か？保護者が対象か？

・土屋指導主事

基本的には児童生徒が対象となっている。保護者の方へは学期末のアンケートをタブレットを使用して答えてもらっている。

(2) 下田市立小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の進捗状況について

・事務局(学校教育課参事)より資料2に基づき報告。

【質疑、意見等】

・宮川委員

時間外勤務時間が45時間以内の割合が増えている中で、業務の効率化により早く帰られるようになったのか、それとも業務はあるが時間外の削減の目標のために早く帰って家で業務を行っているのか。根本的な業務見直しを行い効率化を進めなくてはいけないと感じる。体力があり精神的に強い先生が最終的に管理者として残るではよくない。

・宇仁参事

宮川委員のおっしゃるとおりで効率化を進めなくてはいけない。アンケートには仕事を持ち帰った時間までは報告を義務づけてはいなく、把握はできていないため、家で仕事をしている方もいるかもしれない。そのため、教育大綱の実施計画を策定して負担を軽減できるようにして先生たちのバックアップができるようにしている。

・宮川委員

教頭先生の時間外が多いというのが見て取れる。大変な業務をしているからこれだけの残業になっているのが分かる。教頭先生の業務、仕事を担ってくれる人が必要ではないかと思う。

・宇仁参事

教頭先生は管理職ということで責任感が出る。朝も一番に来て正門を開けたり、先生方の相談も受けたりすると時間が長くなってしまふ。比較的小学校の教頭先生は早く帰れるが、中学校が長い傾向にある。

・教育長

児童生徒が相手なので外せない部分がある。効率化としたときに何をしていくかは学校の課題。国や県が現場の状況をどれだけ分かっているか。文科省からも働き方改革で通知がたくさん来る。その確認に時間を取られてしまふ。時間外の数字が出ている中でその裏で何が原因か等の分析までは手が回っていない。しかし、救いなのがアンケートの「現在の業務について働きがいを感じているか」では96%が働きがいを感じているとの回答があること。

ストレスに関しては80%の方が何かしらのストレスを感じているとのこと。元気な人でも多少のストレスは感じるだろう。そこも解消できればと思う。

・市長

地域住民や保護者は学校への期待が質にも量にも膨張している。何でもかんでも学校でという感情になってしまっているのではないかと感じる。若い職員のやる気を削ぐことにならないか。地域社会の学校に対する考え方を適切なレベルにすることは、もしかしたら行政側の仕事として求められているかもしれない。課題については市長部局とも共有させてもらい一緒になって進めていきたい。

市で行っているグローバル CITY プロジェクトは先生にとっては負担になっている部分もあるかもしれない。軽減できるところは対応していきたいので言っていただければと思う。

・教育長

市長からグローバル CITY プロジェクトが先生方の負担になっているのではないかと意見もあったが、グローバル CITY プロジェクトをやることで子どもたちの成長を見られ、よい表情をしている。それだけで頑張ろうと思える。そのため学校にとってありがたい事業だと思うので頑張って進めていきたい。

(3) 下田市立図書館等生涯学習施設 基本構想・基本計画(案)について

・事務局(生涯学習課)より報告。

【質疑、意見等】

・宮川委員

資料Ⅰの前半部分に市の財政のことが書いてある。人口も減り、財源も厳しいとあり大丈夫かなとは思いますが、逆に下田は住みやすいと感じる。家の一部が壊れたとなれば大工さんがすぐ来てくれたり、

人口が減ったがつながりが密になったと感じる。図書館を中心とした交流スペースで業者と市民の交流があってもよいのかとも思う。

・増山課長

中央公民館と図書館を一体化させることで、人口減少・財政難の中でも施設の集約化・効率化により複合化し、その中で多世代間・職種間の交流を生み出したい。

・磯崎委員

今の図書館は駐車場も狭く、入りづらい印象があった。この計画であれば公民館に用があったついでに図書館で本を見るという自然の流れになり子どもも行きやすくなると思う。駐車場も広くなり人もより集まりやすい。

・増山課長

今の図書館は確かに駐車場が入りづらい。今後、公民館駐車場の車両の動線についても計画の中で考えていき、図書館と公民館の複合化を実現したい。

・宮内委員

先日、伊東のアピタに買い物に行った際に入口のホール部分にイスとテーブルがところどころにあり、夏休み期間中と言うことで子どもたちが折り紙をしていた。そのときに下田に折り紙を折れる施設があるのだろうかと思った。今後、図書館がそのような部分を担ってくれるのではないと思う。図書館は職員さんもいて保護者からすると安全な場所だと感じる。

図書館のオープンをどのように周知するのかと考えたときに下田市はSNSを行っている。その他にグループで図書館と開くと下田市と松崎等が出てくる。コメント数はそこまで多くないが、評価は下田市で3.2くらい。修善寺の図書館が4.7となっていた。新しい図書館がよいものであればグループ等の評価により伊豆半島で一番の図書館になってほしいと思っている。

・増山課長

今までの図書館イベントは、本に関わる内容だった。複合化後は、社会教育施設と本に限らず、折り紙のような様々なイベントや取組を行っていきたい。

・西川委員

まちなかで子どもを遊ばせるときに公園はなく、離れたところまで行かなくてはいけない。そうなると図書館へという気持ちになるが狭く、本は借りるが滞在時間は短い。この計画を見ると楽しめると感じる。親からすると子どもが興味を持っていろいろなことができる場所は大事だと思うので、このように実現していただければと思う。

・増山課長

現在の図書館は昭和の時代に建設された。日光の関係で本が傷むことなどもあるのでストックヤードも暗かった。今後は明るく、開けた場としたい。

・市長

まちの中にこのような施設を整備していくために教育委員会と一緒に取り組んでいきたい。中央公民館の整備についていろいろなプロセスを経て着地できたことにお礼を申し上げます。

今後はこの内容を市民の方々に広く周知して、中央公民館を図書館として集約していきます。その中でアイデアがあれば検討したい。

西川委員が言ったように子どもも大人も気軽にちょっと図書館へ通える空間としたい。都市計画におい

てまちづくりは重要な部分を担う。その中で本屋があるまちは強い。本屋で雨宿りができ、知を知ることができる。待ち合わせ場所にもなる。残念ながら下田の本屋は少なくなっている。それでも下田の図書館で最新作を借りることができる。後は津波の対策として屋上に避難できる火の見櫓のような空間があればいいと思います。

・教育長

この図書館の計画はとても楽しみです。今の図書館で職員さんたちはとてもいい環境化で本を扱っている。知識も豊富でその職員が新しい図書館で働いてくれると考えるとうれしくなる。

空間という面で市役所の体育館のスペースがある。子どもたちが遊べるスペースとなっており少しずつ利用してくれる方が増えてきている。その横では丸テーブルがあり勉強をしている方もいる。そのような姿を見るとうれしくなる。そのような空間が図書館にもできる。いろいろな方の意見を伺いながらよい図書館にしたい。

・企画課長

総合教育会議の場合は、市長部局と教育委員会部局と連携して教育行政を同じ方向性のもと、協議、推進していく場でございますが、この中央公民館を活用した図書館を、新しい学びと交流拠点として同じ方向性のもとで、進めていく方針ということでしょうか。

・委員

異議なし

4 その他

令和8年度ニューポート市訪問事業の実施について

・事務局（企画課課長補佐）より説明。

5 閉会 16:37